市長ノート

the Mayor of Saga Note

Vol. 43 check

坂井英隆佐賀市長が、今、特に力を入れておられること、強く意識されていることについて、直接市長に取材し、それを皆さんにお伝えしていくコーナーです。坂井市長にお聞きしたお話を「市長のメモ」風にして掲載します。

坂井英隆佐賀市長

乗り場が近いと、外出はどう変わる？

約4キロ四方に約200か所。歩いて行ける距離に乗り場を設けようと、職員も力を尽くしてくれました。

約3万人が暮らす西部エリアに、市初のAIを活用した乗り合い交通。予約で走り、南北の移動や、交通が手薄な地域の不便も補います。

乗り場の近さと、暮らす人のニーズ。その組み合わせで相乗りが増えることを期待しています。地域を支える新しい交通の形への挑戦です。

書く手間の次は、探す手間を減らす

昨年度の「書かない窓口」で、住所や氏名を何度も書く手間が減り、記載台7台分のスペースが生まれました。

市役所には、60以上の窓口に、発券機も6台。行き先を尋ねる方も多いため、案内ロボット「あんなちゃん」が加わりました。

職員とロボットが一緒に皆さんを迎える。便利さとともに、親しみも増していく。そんな温もりのある市役所になればうれしいですね。

バルーンの夜に、「好き」をもう一つ

バルーンを見に来て、佐賀を舞台とするアニメに出会う。アニメをきっかけに、佐賀へ来る。今年は、そんな楽しみ方もできる夜に。

11月2、3日の夜間係留で、佐賀を舞台にした「ゾンビランドサガ」と共演。いつもの音楽と炎の美しさを大切に、特別な演出を加えます。

見慣れたバルーンにも、新しい楽しみがある。地元の皆さんも、「好き」をもう一つ見つけに来てください。